

## 2021年7月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年9月3日

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
 コード番号 6267 URL <https://www.general-packer.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 大西 章三

TEL 0568-23-3111

定時株主総会開催予定日 2021年10月22日 配当支払開始予定日 2021年10月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年10月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年7月期の連結業績(2020年8月1日～2021年7月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	8,787	3.1	1,035	23.9	1,042	24.2	741	30.5
2020年7月期	8,522	2.3	835	12.6	839	12.7	567	8.3

(注) 包括利益 2021年7月期 751百万円 (33.3%) 2020年7月期 563百万円 (9.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年7月期	419.43		15.5	11.1	11.8
2020年7月期	321.37		13.5	9.1	9.8

(参考) 持分法投資損益 2021年7月期 百万円 2020年7月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期	9,806	5,092	51.9	2,882.25
2020年7月期	9,055	4,448	49.1	2,518.18

(参考) 自己資本 2021年7月期 5,092百万円 2020年7月期 4,448百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年7月期	1,447	64	213	2,859
2020年7月期	35	282	110	1,676

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年7月期		25.00		35.00	60.00	107	18.7	2.5
2021年7月期		25.00		45.00	70.00	125	16.7	2.6
2022年7月期(予想)		25.00		35.00	60.00		20.4	

(注) 2021年7月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2022年7月期の連結業績予想(2021年8月1日～2022年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	0.4	468	9.4	470	9.2	324	9.5	183.39
通期	8,600	2.1	746	27.9	750	28.1	520	29.8	294.33

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期	1,798,800 株	2020年7月期	1,798,800 株
期末自己株式数	2021年7月期	32,056 株	2020年7月期	32,056 株
期中平均株式数	2021年7月期	1,766,744 株	2020年7月期	1,766,529 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

2021年7月期の個別業績(2020年8月1日～2021年7月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期	7,980	11.4	1,093	44.8	1,194	40.6	883	43.8
2020年7月期	7,163	4.1	755	11.3	849	5.3	614	0.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期	500.04	
2020年7月期	347.69	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年7月期	8,987		5,457		60.7		3,088.98	
2020年7月期	8,384		4,680		55.8		2,649.27	

(参考) 自己資本 2021年7月期 5,457百万円 2020年7月期 4,680百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限により、個人消費の低迷や企業収益及び雇用・所得環境の悪化がみられるなど、景気は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置づけた第6次中期経営計画（2021年7月期～2023年7月期）を策定し、さらなる成長に向けて、グローバル展開の拡大とグループ会社間の事業連携強化を重要課題として取り組んでまいりました。

当連結会計年度における売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産機械事業では海外案件において当初計画では当期の売上予定としていた案件の次期へのずれ込みが発生したこと等により減収となったものの、包装機械事業においては顧客の設備投資需要が堅調に推移し増収を確保できたことから、前連結会計年度に比べ264百万円の増収となり、4期連続の増収となりました。利益につきましては、包装機械事業における増収効果及び売上総利益率の改善、グループ全体での販売費を中心とした経費抑制等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前連結会計年度に比べ増益となり、過去最高益を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は8,787百万円（前期比3.1%増）、営業利益は1,035百万円（前期比23.9%増）、経常利益は1,042百万円（前期比24.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は741百万円（前期比30.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (包装機械事業)

主力商品であるメカトロハイスペック包装機の販売実績が前期並みに推移したことに加え、製袋自動包装機及び包装システムの販売実績が増加したこと等に伴い、売上高は8,053百万円（前期比8.3%増）となりました。利益につきましては、増収効果に加え、売上総利益率が改善したこと及び販売費を中心に経費が抑制されたこと等に伴い、営業利益は1,092百万円（前期比42.6%増）となりました。

#### (生産機械事業)

大型プラント案件の販売実績が減少したこと等に伴い、売上高は737百万円（前期比32.2%減）となりました。利益につきましては、販売費を中心に経費が抑制されたものの、減収が大きく影響し、営業損失57百万円（前期は営業利益68百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は9,806百万円となり、前連結会計年度末に比べて750百万円増加いたしました。この主たる要因は、棚卸資産が298百万円、無形固定資産が83百万円、それぞれ減少したものの、現金及び預金が1,182百万円増加したこと等によります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は4,714百万円となり、前連結会計年度末に比べて107百万円増加いたしました。この主たる要因は、借入金105百万円減少したものの、未払法人税等が134百万円、前受金が65百万円、それぞれ増加したこと等によります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は5,092百万円となり、前連結会計年度末に比べて643百万円増加いたしました。この主たる要因は、利益剰余金が633百万円増加したこと等によります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,182百万円増加し、2,859百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,447百万円（前期は35百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,066百万円、たな卸資産の減少額301百万円、減価償却費88百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額246百万円等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は64百万円（前期比77.2%減）となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入38百万円等であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出61百万円、関係会社出資金の払込による支出29百万円等であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は213百万円（前期比93.9%増）となりました。支出の内訳は、配当金の支払額107百万円、長期借入金の返済による支出105百万円であります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化や個人消費の低迷など、経済への広範な影響に伴い、景気は厳しい状況が続くことが見込まれます。

このような状況下で当社グループといたしましては、グローバル展開加速に向けた販売体制の確立とグループ会社間の事業連携強化を重要課題として、現在推進中である第6次中期経営計画で掲げている基本戦略を推進し、一層の業績の向上を目指してまいります。

次期の売上高につきましては、受注残高は前年並みに確保できているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により景気の先行きには不透明感が増しており、顧客の設備投資需要が減少することも想定されることから、2021年7月期からの減収を見込んでおります。利益につきましては、減収の影響に加え、一部の低採算案件の影響による売上総利益率の低下、国内外での展示会出展や顧客への訪問活動増加による販売費の増加等を想定していることから、2021年7月期からの減益を見込んでおります。

以上により、2022年7月期の連結業績予想といたしましては、売上高8,600百万円（前期比2.1%減）、営業利益746百万円（前期比27.9%減）、経常利益750百万円（前期比28.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益520百万円（前期比29.8%減）を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分は、長期的安定と成長を維持するという観点から、企業価値を増大させる再投資のための内部留保と、株主への積極的な利益還元を図ることを基本方針としております。

配当政策につきましては、連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指していく方針であります。

上記の基本方針のもと、当期の配当金につきましては、1株当たり期末配当金を45円（普通配当35円、記念配当10円）とし、すでに実施している1株当たり中間配当金25円と合わせて、1株当たり年間配当金は70円を予定しております。記念配当につきましては、当社が2021年12月をもちまして創業60周年を迎えるにあたり、株主の皆様へ感謝の意を表するため、期末配当金について1株当たり10円を加えさせていただくものであります。

なお、次期の配当金につきましては、1株当たり年間配当金60円（中間配当金25円、期末配当金35円）を予定しております。

内部留保資金につきましては、企業体質の強化や競争力強化のための人材投資、研究開発投資など将来の発展・成長のために活用していくとともに、安定配当を維持する資金としても有効に活用してまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,776,948	2,959,474
受取手形及び売掛金	1,613,236	1,523,063
電子記録債権	150,064	201,081
仕掛品	2,064,011	1,819,956
原材料及び貯蔵品	430,004	375,475
未収入金	255,987	235,380
その他	83,416	61,994
流動資産合計	6,373,670	7,176,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	427,940	404,752
土地	785,645	786,692
その他（純額）	42,789	74,207
有形固定資産合計	1,256,376	1,265,652
無形固定資産		
のれん	586,941	550,447
商標権	81,288	76,234
技術資産	529,006	496,114
その他	28,838	20,222
無形固定資産合計	1,226,074	1,143,019
投資その他の資産		
投資有価証券	53,418	52,351
繰延税金資産	83,643	102,966
その他	62,284	65,990
投資その他の資産合計	199,347	221,308
固定資産合計	2,681,798	2,629,980
資産合計	9,055,468	9,806,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当連結会計年度 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,585,830	1,356,336
電子記録債務	348,456	568,206
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	105,996	83,306
未払法人税等	130,719	264,783
前受金	1,115,541	1,181,140
役員賞与引当金	28,750	29,750
製品保証引当金	26,663	22,571
受注損失引当金	—	30,235
その他	352,792	358,969
流動負債合計	3,794,749	3,995,298
固定負債		
長期借入金	416,686	333,380
繰延税金負債	279,939	259,023
株式給付引当金	25,950	35,800
退職給付に係る負債	40,457	42,000
その他	48,700	48,700
固定負債合計	811,732	718,903
負債合計	4,606,482	4,714,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	306,392	306,392
利益剰余金	3,953,124	4,586,316
自己株式	△65,912	△65,912
株主資本合計	4,445,180	5,078,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,383	12,971
為替換算調整勘定	△6,577	859
その他の包括利益累計額合計	3,805	13,831
純資産合計	4,448,986	5,092,204
負債純資産合計	9,055,468	9,806,406

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
売上高	8,522,729	8,787,265
売上原価	6,129,653	6,193,785
売上総利益	2,393,076	2,593,480
販売費及び一般管理費	1,558,037	1,558,455
営業利益	835,038	1,035,025
営業外収益		
受取利息	244	279
受取配当金	2,052	1,971
仕入割引	2,155	2,892
助成金収入	1,454	—
受取保険金	14	1,236
その他	2,615	3,026
営業外収益合計	8,537	9,406
営業外費用		
支払利息	3,943	1,965
その他	30	28
営業外費用合計	3,974	1,993
経常利益	839,601	1,042,438
特別利益		
固定資産売却益	—	49
投資有価証券売却益	—	33,000
特別利益合計	—	33,049
特別損失		
固定資産売却損	424	—
固定資産除却損	477	5,228
減損損失	—	3,288
特別損失合計	901	8,516
税金等調整前当期純利益	838,700	1,066,971
法人税、住民税及び事業税	266,999	367,539
法人税等調整額	3,990	△41,600
法人税等合計	270,990	325,939
当期純利益	567,709	741,032
親会社株主に帰属する当期純利益	567,709	741,032

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
当期純利益	567,709	741,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,855	2,588
為替換算調整勘定	△1,596	7,437
その他の包括利益合計	△4,452	10,025
包括利益	563,257	751,057
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	563,257	751,057

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	251,577	306,392	3,484,267	△67,210	3,975,026
当期変動額					
剰余金の配当			△98,853		△98,853
親会社株主に帰属する 当期純利益			567,709		567,709
自己株式の処分				1,298	1,298
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	468,856	1,298	470,154
当期末残高	251,577	306,392	3,953,124	△65,912	4,445,180

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	13,238	△4,981	8,257	3,983,283
当期変動額				
剰余金の配当				△98,853
親会社株主に帰属する 当期純利益				567,709
自己株式の処分				1,298
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△2,855	△1,596	△4,452	△4,452
当期変動額合計	△2,855	△1,596	△4,452	465,702
当期末残高	10,383	△6,577	3,805	4,448,986

当連結会計年度(自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	251,577	306,392	3,953,124	△65,912	4,445,180
当期変動額					
剰余金の配当			△107,839		△107,839
親会社株主に帰属する 当期純利益			741,032		741,032
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	633,192	—	633,192
当期末残高	251,577	306,392	4,586,316	△65,912	5,078,373

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,383	△6,577	3,805	4,448,986
当期変動額				
剰余金の配当				△107,839
親会社株主に帰属する 当期純利益				741,032
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	2,588	7,437	10,025	10,025
当期変動額合計	2,588	7,437	10,025	643,218
当期末残高	12,971	859	13,831	5,092,204

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	838,700	1,066,971
減価償却費	104,882	88,715
減損損失	—	3,288
のれん償却額	36,493	36,493
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	30,235
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,500	1,000
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	8,250	9,850
受取利息及び受取配当金	△2,297	△2,251
支払利息	3,943	1,965
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△33,000
売上債権の増減額 (△は増加)	33,900	40,673
たな卸資産の増減額 (△は増加)	58,829	301,652
未収入金の増減額 (△は増加)	13,940	29,913
仕入債務の増減額 (△は減少)	△189,940	△17,175
前受金の増減額 (△は減少)	△153,938	62,378
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△385,758	40,952
その他	△24,512	31,761
小計	344,993	1,693,423
利息及び配当金の受取額	2,297	2,251
利息の支払額	△3,968	△1,965
法人税等の支払額	△307,623	△246,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,697	1,447,332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,391	△200,405
定期預金の払戻による収入	100,193	200,400
有形固定資産の取得による支出	△173,891	△61,423
有形固定資産の売却による収入	7,608	50
無形固定資産の取得による支出	△9,960	△6,923
投資有価証券の売却による収入	—	38,500
関係会社出資金の払込による支出	—	△29,900
その他	△5,976	△4,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282,417	△64,524
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	600,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△600,000
長期借入金の返済による支出	△111,996	△105,996
自己株式の処分による収入	386	—
配当金の支払額	△98,598	△107,733
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,208	△213,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,438	13,441
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△358,366	1,182,521
現金及び現金同等物の期首残高	2,035,116	1,676,750
現金及び現金同等物の期末残高	1,676,750	2,859,271

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、経済や企業活動に広範な影響が生じており、今後の収束時期やその影響の程度を合理的に予測することは、現時点では困難な状況であります。

当社グループでは、当連結会計年度末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が翌連結会計年度末まで続くとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済環境への影響が変化した場合には、翌連結会計年度以降の当社グループの財政状態、経営成績に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報)

### 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、包装機械、生産機械の2つの事業単位で組織が構成されており、各事業単位で日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「包装機械」「生産機械」の2つを報告セグメントとしております。

「包装機械」は、自動包装機械の設計・製造・販売及び保守サービスを行っております。「生産機械」は、食品製菓製造機械の設計・製造・販売及び保守サービスを行っております。

### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替額は、主に市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	包装機械	生産機械	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,434,692	1,088,036	8,522,729	—	8,522,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	168	—	168	△168	—
計	7,434,860	1,088,036	8,522,897	△168	8,522,729
セグメント利益	765,677	68,761	834,438	600	835,038
セグメント資産	6,118,612	2,936,856	9,055,468	—	9,055,468
その他の項目					
減価償却費	59,478	45,403	104,882	—	104,882
のれん償却額	—	36,493	36,493	—	36,493
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	164,610	1,702	166,312	—	166,312

(注) 1 セグメント利益の調整額600千円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	包装機械	生産機械	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,053,673	733,592	8,787,265	—	8,787,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,965	3,965	△3,965	—
計	8,053,673	737,558	8,791,231	△3,965	8,787,265
セグメント利益又は損失(△)	1,092,157	△57,732	1,034,425	600	1,035,025
セグメント資産	6,792,940	3,013,466	9,806,406	—	9,806,406
その他の項目					
減価償却費	45,887	42,827	88,715	—	88,715
のれん償却額	—	36,493	36,493	—	36,493
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	76,368	927	77,296	—	77,296

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額600千円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
1株当たり純資産額	2,518.18円	2,882.25円
1株当たり当期純利益金額	321.37円	419.43円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式交付信託が保有する当社の株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除した自己株式数に含めており、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除した当該自己株式数は、前連結会計年度30,585株、当連結会計年度30,585株であり、1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度30,800株、当連結会計年度30,585株であります。
- 3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	当連結会計年度 (自 2020年8月1日 至 2021年7月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	567,709	741,032
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	567,709	741,032
普通株式の期中平均株式数(株)	1,766,529	1,766,744

## (重要な後発事象)

## (海外子会社の設立)

当社は、2021年6月11日開催の取締役会において、米国に子会社を設立することを決議し、2021年8月2日付で子会社の設立を完了いたしました。なお当該子会社は、資本金が当社の資本金の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社に該当することとなります。

## ① 設立の理由

当社は、「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置付けた第6次中期経営計画を現在推進しており、『さらなる躍進に向けグローバル展開の拡大を目指す』を基本戦略として各種経営施策に取り組んでおります。

この度、包装機械事業において今後継続的に需要拡大が見込める米国での販売活動をさらに強化するために子会社を設立することいたしました。当該子会社設立により、米国市場における当社グループの存在感を高めて販売基盤の拡大を図るとともに、既存顧客へのアフターサービスの充実化に取り組んでまいります。

## ② 設立子会社の概要

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| (1) 名称        | General Packer America Corporation |
| (2) 所在地       | 米国イリノイ州シカゴ                         |
| (3) 代表者の役職・氏名 | CEO 土井茂昭(当社執行役員)                   |
| (4) 事業内容      | 自動包装機械及び周辺装置の製造・販売・保守サービス          |
| (5) 資本金       | 80万米ドル(87百万円)                      |
| (6) 出資比率      | 当社100%                             |
| (7) 設立年月日     | 2021年8月2日                          |